

大学に思う (2)

鈴木 五郎

前回にひきつづき、基礎医学教室についての述懐です。

細菌衛生も今日の様なものでなかった。私は細菌学を松村先生に、衛生学を緒方先生に習った。学生時代にこの学問がどんなものか余り熱心にききもせず教えられもしなかった様である。卒業後になって何彼と知るようになった。

松村先生は外遊から帰られて衛生学を担当され、古巣雄という方が助教でいたが、その後には川君が早く助教となり、松村先生は腸内菌叢の研究が盛であった。私老の目に、他界された。狂犬病研究は同窓のよく知る所と思う。

病理学の講義は石橋松蔵先生であった。きつい筒井先生の後で落第はないうと噂をしたものである。私は卒業後よく病理の教室へ行き、別出標本の切片を見て貰った。戦後或期間千葉医学会で教授、助教は講師各一名が特別講演をするということだったと思うが、先生は眞田について、私は骨移植についてやったことを記し、又私は先生の解剖の見事なことが印象に残る。馬杉復三教授の講義はきいたことがないが、その事は来永劫語に伝えられるであらう。現教授の桑田君によ

い近くであったので、御母堂の病室等よく伺ったこともある。それよりも私は先生長期に亘る病氣と関連し印象強く残るのは奥様の容姿と奥様振りである。立派な看護であったと思う。

病理には古くから大谷節夫、高島克己内藤勝助、原田美実等々が居て格別な空気の流れがあった。筒井秀二郎先生が初代教授だったと思う。私は講義をきく機会もなかったが四年生への授業中の先生の風貌容姿を窓越しに見て随分と感服した先生だと思った。聞けば落第を沢山つくると言われた。聞けば松村先生が助教でいた。私共は石橋松蔵先生で大変驚かされた。筒井秀二郎先生が教授でいた。松村先生が助教でいた。松村先生が助教でいた。松村先生が助教でいた。

十数年前に曾遊の地ドイツを訪れた。もちろん全部で三週間あまりの旅の途中でしたが、ほんのかい言に過ぎませんが、やはり、変った所、変らない所があるように思えた。

まず服装ですが、昔だったら町を歩くのにネクタイをきちんと結び、上着を着ていないといけなかったものが、今は開襟シャツなどの姿がかなり路上で見られます。まさに開かれたドイツといったところですが、似たことが駅や街角の案内板で見られました。

たとえば出発、到着、料金所といった表示に、ドイツ語と並べて英語が、決して観光地ではない小さな町でも書かれていました。ハインベルグなどでは道を歩いていて耳に入る会話の三分の一は英語で、コカコーラの盛大な進出と

ドイツ 昨今

萩原 弥四郎

ゲッティング・クリム童話碑の前にて一後に見るのは新しい出来た団地ですが、新旧の景観に違和感があります。

つまずき、何々教室はどこの通りに、何科は何町にといったように、市中の処々方々に分散していたドイツの大学の学部や教室が、一定の構内に集められようとしていくわけです。もちろん旧市街内でそれをやることはできないので、郊外にある所に大きな敷地を設け、そこに地割りが行なわれて高層の建物と建てられています。まさに私有地を買い上げたわけではいいのですが、とにかくミッド・ドイツのやり方と比べると、想像を絶する断行ぶりといえましょう。

内容も改められてきていました。私が居りました当時の学生の最高定員は百二十名でしたが、今度行つて見たら二百五十名になっていました。もっとも単位制で行なわれるので一回の講義に加わる人数はそれほど変らないのですが、教育に費される教員の労力は倍加したことになる。よく実習はスモール・グループで行なうためにいままでの方式、やれなくなり

テレビとカセットテープが用いられています。ゲッティング・クリム童話のテーマは高野教授の苦心の作だそう、学生一人一組づつあてがわれ、学生が独学できるように、上手に作られていました。

この設備の予算が国から出ないことは日本と似ていますが、大学のアビールによって出資してくれる財団のあるところ、その高層であることなどは、彼らの価値感の大きな相違点だと思います。物価も上がっていました。タバコが二倍、ビールが三倍ほどの値上りでしたが、一方ケルリンなどの野菜は十四年前とほぼ同じでした。フンボルトなどの給付金も、それに応じて上っている。エッセンの小山明君、ゲッティングの石田貴和君などの留学生達は、結構優雅な生活を送っており、ジッがまの昔の留学生とはかなり違っています。

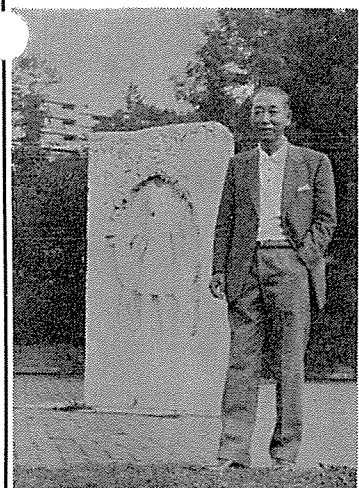
とはいえず、なだらかな起伏の丘の緑、村落の中央に聳える教会の尖塔、牧歌的な生の声をのせるサリとした大気、典型的な針葉樹林など、ドイツの風土はまったく普通通りでした。都市の中には碑や彫像をもった大きな公園があり、人垣のために新築された団地がもとの街との間に違和感を覚えさせない点なども、当時と全く変わっていません。

とくにマールブルクのような小さな都市では、良言は親切、悪言は費される教員の労力は倍加したことになる。よく実習はスモール・グループで行なうためにいままでの方式、やれなくなり

とくにマールブルクのような小さな都市では、良言は親切、悪言は費される教員の労力は倍加したことになる。よく実習はスモール・グループで行なうためにいままでの方式、やれなくなり

とくにマールブルクのような小さな都市では、良言は親切、悪言は費される教員の労力は倍加したことになる。よく実習はスモール・グループで行なうためにいままでの方式、やれなくなり

とくにマールブルクのような小さな都市では、良言は親切、悪言は費される教員の労力は倍加したことになる。よく実習はスモール・グループで行なうためにいままでの方式、やれなくなり



とくにマールブルクのような小さな都市では、良言は親切、悪言は費される教員の労力は倍加したことになる。よく実習はスモール・グループで行なうためにいままでの方式、やれなくなり

冠循環・心機能改善剤

イルダメン錠・注

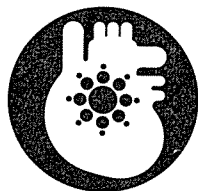
(塩酸オキシフェドリン)

中外製薬株式会社

東京都中央区京橋2-2

薬価基準収載

●薬価

錠：8mg | 錠 16.20
注：0.2% | 管 75.00

Drug Rehabilitation



◇児玉書簡◇

学歌に寄せて

今年の春のことです。名誉会員の児玉先生から当編集委員会宛にお便りをいただきました。一寸その前文を引用させていただきますと……「陽春の候となりましたが皆様一同ご健康のことと存じます。春ともなれば亥鼻台上の桜花が懐かれます。十有五年青壮年時代を過ぎた亥鼻台が三十有余年の今日に到つても晩に焼きついでいます。現在千葉大学の学歌というものがありませんか、ありませんか、あります。さうしたら順序の節にお聞かせ下さい……とありました。その後の編集委員会の折、このお便りをご披露したところ、一体大学歌があるのだろうかと同頭をひねりましたが、よくしらべてみるとなんと昭和三五年に作られた「千葉大学歌」というのがありました。紙面の都合上楽符は省略いたしますが、歌詞とともに児玉先生のお便りの一部もご紹介させていただきます。

現在千葉大学の学歌というものがありませんか、あります。さうしたら順序の節にお聞かせ下さい。われわれの時代は、前千葉陸軍出身者と

千葉大学歌

勝 承夫 作詞
平井康三郎 作曲

(一) 若い空 若い地
房総の 風は歌うよ
太平洋の 意気 寄せくるところ
内海の和気たようところ
みよ 青春の 花のようこび
千葉大学 心のふるさと

(二) 晴れたる 満ちわたる
新鮮な 汐の香りよ
向学の窓 清らかに高く
探究の庭 はてなく 広く
みよ 燦然と叡智あつまる
千葉大学 文化のさきがけ

(三) 若い雲 若い鳥
黎明の 星は光るよ
躍進の道 はるかにひらけ
純情の友 楽しく競う
みよ 永遠の聖火燃えたと
千葉大学 栄あるまなびや

大学出身者と合同すべきところが「十有五年」の昔、まるで夢のような問題になっていた、いわゆる狂心地がせられます。昭和十五年、乱暴の時代でありまして、とて教授会を押し切つて、あのはな同窓会なんか口さすむほど、のんきな時代ではありませんでした。その問題で教授会が毎日夜遅くまで開かれたのでした。思えば三から統々と押しかけ、買切りバ

私は第一「外科」に長くお世話になつて、鈴木会長の二十年も働いて、鈴木会長の二十年も働いて、府立医大など、千葉と同運命にあ

いたるかも知れません。高橋学長は恩師であります。それが教授会に絶対反対の行動を取られたのですから、高橋学長は非常に苦しみました。私は今でも涙をのんで学長の墓にお詫言しているのです。ついに高橋学長は犠牲となって退官、また病も得られませんでした。もちろん私は追放、ついに十五年間の亥鼻台上的生活に終止符を打たれました。

第一回は、学長と佐藤・加賀谷両教授のみ、全国津々浦々から同窓生が相寄るのに、出席したのは学長のほか二教授のみ、涙なしにはいられません。あのはな同窓会に賛同し、あのはな同窓会の顧問の席にあった某々教授も、前日までは出席を約しながら、言を左右にして出席せず(当日の会合の写しを私の家にあります)。学長は心からお祝いの言葉を述べて下さったが、その胸の裡は察するに余りあります。日ならずして教授会の連日のつるし上げに会って、退官せざるを得ない運命の日が待ち受けていたのです。当日、田村君が壇上に飛び上つて、児玉を追放するなと絶叫してくれましたが、かえって教授会を刺激したようであつて、米も配給お砂糖も配給といふ時代ですから、紙の手当がつきません。ようやく集まったお金で専属の事務員を雇うことができたので、その人達を奮励してやつと不完全ながら名簿ができました。これは、昭和十五年です。会員名簿第一号は昭和十五年であったはずですが、どこかの倉庫に眠って

いたるかも知れません。高橋学長は恩師であります。それが教授会に絶対反対の行動を取られたのですから、高橋学長は非常に苦しみました。私は今でも涙をのんで学長の墓にお詫言しているのです。ついに高橋学長は犠牲となって退官、また病も得られませんでした。もちろん私は追放、ついに十五年間の亥鼻台上的生活に終止符を打たれました。

第一回は、学長と佐藤・加賀谷両教授のみ、全国津々浦々から同窓生が相寄るのに、出席したのは学長のほか二教授のみ、涙なしにはいられません。あのはな同窓会に賛同し、あのはな同窓会の顧問の席にあった某々教授も、前日までは出席を約しながら、言を左右にして出席せず(当日の会合の写しを私の家にあります)。学長は心からお祝いの言葉を述べて下さったが、その胸の裡は察するに余りあります。日ならずして教授会の連日のつるし上げに会って、退官せざるを得ない運命の日が待ち受けていたのです。当日、田村君が壇上に飛び上つて、児玉を追放するなと絶叫してくれましたが、かえって教授会を刺激したようであつて、米も配給お砂糖も配給といふ時代ですから、紙の手当がつきません。ようやく集まったお金で専属の事務員を雇うことができたので、その人達を奮励してやつと不完全ながら名簿ができました。これは、昭和十五年です。会員名簿第一号は昭和十五年であったはずですが、どこかの倉庫に眠って

いたるかも知れません。高橋学長は恩師であります。それが教授会に絶対反対の行動を取られたのですから、高橋学長は非常に苦しみました。私は今でも涙をのんで学長の墓にお詫言しているのです。ついに高橋学長は犠牲となって退官、また病も得られませんでした。もちろん私は追放、ついに十五年間の亥鼻台上的生活に終止符を打たれました。

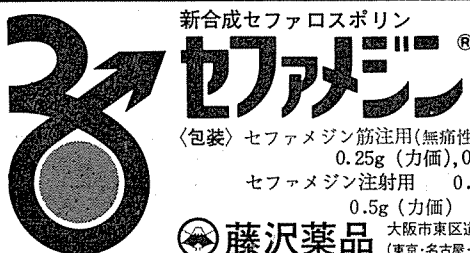
第一回は、学長と佐藤・加賀谷両教授のみ、全国津々浦々から同窓生が相寄るのに、出席したのは学長のほか二教授のみ、涙なしにはいられません。あのはな同窓会に賛同し、あのはな同窓会の顧問の席にあった某々教授も、前日までは出席を約しながら、言を左右にして出席せず(当日の会合の写しを私の家にあります)。学長は心からお祝いの言葉を述べて下さったが、その胸の裡は察するに余りあります。日ならずして教授会の連日のつるし上げに会って、退官せざるを得ない運命の日が待ち受けていたのです。当日、田村君が壇上に飛び上つて、児玉を追放するなと絶叫してくれましたが、かえって教授会を刺激したようであつて、米も配給お砂糖も配給といふ時代ですから、紙の手当がつきません。ようやく集まったお金で専属の事務員を雇うことができたので、その人達を奮励してやつと不完全ながら名簿ができました。これは、昭和十五年です。会員名簿第一号は昭和十五年であったはずですが、どこかの倉庫に眠って

急告!

今年も余すところ一ヶ月足らずです。六月以来四金会を開催しておりますが、年末はいろいろ予定もあり、ご多忙かと存じますので、来年一月に新年宴会として開催する予定であります。当日は三輪名誉会員、福沢特別会員、尾木、山口、古川各会員の叙叙祝賀も併せ行ないますので、多数のご参加をお願い申し上げます。

■健保適用

国産で初めての
セファロスポリン系抗生物質



筋注用 / 注射用

〈包装〉セファメジン筋注用(無痛性溶解液添付)
0.25g (力価), 0.5g (力価)
セファメジン注射用 0.25g (力価)
0.5g (力価) 1g (力価)

藤沢薬品 大阪市東区道修町4丁目3 ④登録商標
(東京・名古屋・広島・福岡・札幌・仙台)

使用上の注意は製品添付文書参照のこと

内科専門医試験
はじめ

日本内科学会は、昭和四十二年十月に発足した内科専門医制度が今年で満五年となり、発足時にAコース(内科学会が認定した教育病院における研修三年)と同教育病院またはその関連病院における研修二年(計五年)の研修を始めた第一期研修生が研修期間を終了したため、第一次試験(筆答、E型、multiple choice方式採用)を十一月十五日、第二次試験(口答)を十一月十一日に行なった。

今回の受験者は第一回目ということであったためか十七名であった。

この制度は、内科医としての高い知識と練磨された技能をそなえた優れた臨床医を社会におくり、社会一般の人々がより高い水準の医学の恩恵をうけられるよう社会の福祉に貢献し、併せて内科学の向上をはかることを目的としており、したがって、認定試験は内科専門医制度研修カリキュラム案にのっとっての内科学全般の普遍的知識ならびに、臨床実技の評価のためのものである。筆答試験は内科九つの分科から出題され、それぞれ定められた基準以上の成績をあげなければ、たとえ総得点がよくても不合格。口答試験では、研修者が受験のさい提出した各種疾患受持ち入院患者五十症例、剖検五症例の病歴の抄録を重視し行なわれた。

吉野山吟行

やはぎ会

吉野の沢井豊多助(俳号 山脚米)先生(昭・10卒)のお誘いで去る十一月十日の十一日にかけて「やはぎ会」一行十二名が吉野山の紅葉を訪ねた。花時の盛々しさとは打ってかわって、日曜日の吉野山はまことに静かで一同心ゆくまで探勝した。山脚米先生御夫妻の格別のお世話で一行が旅装を解いた八木屋は、かつて加賀谷凡秋先生御夫妻はじめ有名俳人が数多く足をとめた宿で、主人の平井氏も校風と号してその道をたしなむ方であった。一同紅葉のあま

短歌

老母骨折

井上駿一教授に

桑田次男

レ線フィルムの白き亀裂よわが母の大腿骨折疑いもなし

紅のわが血液はゆるやかに母のかいに入りてゆくかも

わが母をのせし車に寄りそいぬ手術室への廊下は長し

手術台にむかいて歩む若き教授の巾ひろき肩をたのもしと見つ

わが母は深き眠りにおちたるらし悉なきを祈りて手術室を出つ

端正に柿の葉寿司や紅葉宿

高橋いさお

むらさきの吉野山なみ秋晴雨

館野之男

行く秋や風の中なる隠者

増田 善昭

王朝の二つの戦中散る紅葉

小野 忍

吉野山葉は地に還る冬近し

今田屋 章

峰紅葉短く燃えし南朝史

秋原 季葉

濃紅葉や濃く世を生きし人のあり

村山さとし

住みつきてその山の紅葉深く

森 和夫

谷紅葉先ゆく声のほりくる

上山 永晃

落葉のなかの

るのな祭

本年度「るのな祭」は十月二十七日より二十九日の三日間開催されたが、近年にならびひく、往年の市民ともどももの明るい雰囲気はみられず、いか様だ説明していても事実曲り角にきていることは否はなるまい。

医師国家試験

合格者発表

第五十六回医師国家試験が昭和四十八年十月七日から十日まで、全国三万所で行なわれ、その合格者が十月三十日に発表された。今回の受験者数は九三三名(北大

あとがき

◇このところ会報の頁数を少くいたしました。印刷紙底を早くも察知したのかとの問い合せもありましたが、それも一つの理由ではありますが、発行を早くして回数を増す努力をしようとして試みているわけです。相変わらず原稿が不足しておりますので、ご投稿をお待ちしております。

◇いま、むかしは鶴の森を予定しましたが、次号に掲載いたしました。

印刷所 新柳印刷株式会社

千葉市葛城一八八一

電話千葉〇四七二四六六一

●三共が開発したマイナートランクライザー

セレナル®

SANKYO 三共

■健保適用品 (要指示医薬品) (副作用、使用上の注意は添付文書をご覧ください)